



## 実践団体・プラン基本情報

必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません。

ただし「実践団体・プラン基本情報」全体で4ページ以内に収めてください。

### 実践団体の基本情報

|  |   |
|--|---|
| 記入日  | 西暦 2026 年 1 月 16 日（2025 年度のチャレンジプラン）  |
| プラン名   | いつでも居場所『子ども食堂×防災』で、できること  |
| 実践団体名  | 一般社団法人 SHOIN  |
| 代表者名   | 吉原 隆平   |
| 電話番号   | 080-9269-5525   |
| メールアドレス  | <a href="mailto:shoin.shoin.2020@gmail.com">shoin.shoin.2020@gmail.com</a>  |
| 実践団体の説明<br>団体の来歴や特徴などを書いてください  | 子ども達の健全な成長・自立を支援する活動を行っています。家庭環境に関わらず全ての子ども達に、いかに生きていくべきかを学ぶ機会や必要となる人との出会いを創っていきます。2017 年 10 月から子ども達居場所実行委員会として活動をスタートさせ、2020 年 4 月に法人化し、より発展的に活動しています。 |
| 所属メンバー<br>お名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください  | 一般社団法人 SHOIN 理事<br>事業責任者 小池 一博<br>防災食担当 田村 哲朗・細野 晃生<br>キッチンカー担当 吉原 隆平・吉羽 恵介<br>講座担当 瀧井 雅代・若松 穰  |
| 活動の本拠地<br>団体の事務所の所在地や居住地など記入してください。正確な住所でなく「〇〇校区・〇〇自治会」などでも構いませんが、少なくとも「〇〇都道府県〇〇市町村」などの自治体名は入れてください。 | 東京都北区   |
| 活動開始時期・結成時期  | 2025 年 4 月  |
| 過去の活動履歴・受賞歴<br>これまで行ってきた活動や受賞歴（チャレンジプラン以外も含む）をご記入ください  | 2018 年 1 月から毎月第 2・4 水曜日で東十条にて「子ども食堂あゆみ」をスタートさせました。コロナ禍もあり<br>2021 年 2 月以降はキッチンカーを活用して屋外で開催してきた他、ひとり親世帯中心に食品をお渡しする「フード                                   |



|  |  |
|--|--|
|  | <p>パントリーららら」の開催をスタートさせました。</p> <p>2021年7月からはこれまでの拠点型支援では見守ることのできない子ども達やご家庭に向けて、ご自宅に訪問して繋がりを継続していき「北区繋がり広がるプロジェクト」を開始しました。2024年4月からは北区政策提案協働事業として北区子ども未来部子ども未来課との協働事業として進めています。</p> <p>その他、北区社会福祉協議会との共催で実施する「キャリア学習職業体験イベント」や、夏休みに地域活動に参加できない子、旅行などできない子などを対象に、体験活動を通しての夏休みの思い出をプレゼントする「夏休みこども農業体験」を実施しています。</p> |
|--|--|

### プランの基本情報

|   |  |
|---|--|
| <p>プランでの実践主体</p> <p>プランを実践した人の主な属性</p> <p><b>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</b></p>   | 14. その他（具体的に：一般社団法人）   |
| プランの運営側の人数（実数）  | 7人   |
| <p>プランの活動地域</p> <p>今回のプランで活動をした地域を記入してください。正確な住所でなく「〇〇校区・〇〇自治会」などでも構いませんが、少なくとも「〇〇都道府県〇〇市町村」などの自治体名は入れてください。オンラインによる全国発信・世界発信などがある場合には、その旨も書いてください。</p> | 東京都北区  |
| <p>プランの防災教育の対象者</p> <p>防災教育の対象者の主な属性</p> <p><b>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</b></p>   | <p>1. 乳児 2. 幼児・保育園児・幼稚園児</p> <p>3. 小学生（低学年） 4. 小学生（中学年）</p> <p>5. 小学生（高学年） 6. 中学生 7. 高校生 8. 大学生</p> <p>11. 保護者・PTA 12. 地域住民</p> <p>19. 防災関係者 20. 全ての人々</p> <p>21. その他（具体的に：子ども食堂運営者）</p> |
| 防災教育の対象者の人数（実数）   | 約100人  |
| プランが対象とする災害   | 9. 災害全般  |





|     |  |  |  |
|-----|--|--|--|
|     |  | ・北区観光協会との打合せ   |  |
| 7月  |  |  | ・6日(日)飛鳥山盆踊りによるキッチンカー出店  |
| 8月  | 「子ども食堂×防災」イベントの開催をイベントではなく、子ども食堂運営者に向けた座学の調整 | ・キッチンカー出店打合せ   |  |
| 9月  |  | ・キッチンカー出店打合せ<br>・北区子ども食堂ネットワークメンバーリングリストにて情報共有         | ・24日(水)こども食堂あゆみでの子ども食堂×防災レシピ提供<br>・27日(土)神谷地区自主防災訓練でのキッチンカー出店<br>・27日(土)北区花火会によるキッチンカー出店       |
| 10月 | 中間報告会からのプラン再考                                | ・レシピ考案   |  |
| 11月 |  | ・北区子ども食堂ネットワークメンバーリングリストにて情報共有<br>・キッチンカー出店打合せ         | ・12日(水)こども食堂あゆみでの子ども食堂×防災レシピ提供<br>・30日(日)豊島地区自主防災訓練でのキッチンカー出店<br>・30日(日)東十条地区避難所開設訓練でのキッチンカー出店 |
| 12月 |  | ・北区社会協議会・北区子ども食堂ネットワーク世話人と防災講座に向けた打合せ<br>・キッチンカー出店打合せ  | ・14日(日)豊島地区避難所開設訓練でのキッチンカー出店   |
| 1月  | 防災教育チャレンジプランとしての当団体の取り組みを北区子ども食堂ネットワークで発表    | ・北区子ども食堂ネットワーク会議にて情報共有<br>防災の開催に向けた打合せ<br>・キッチンカー出店打合せ | ・24日(土)赤羽地避難所開設訓練でのキッチンカー出店  |
| 2月  | 最終報告会からのプラン再考                                | ・キッチンカー出店打合せ<br>・レシピ考案                                 | ・8日(日)神谷地区避難所訓練でのキッチンカー出店<br>・15日(日)王子地区避難所開設訓練でのキッチンカー出店                                      |
| 3月  |  |  | ・11日(水)こども食堂あゆみでの子ども食堂×防災レシピ提供   |



## 実践したプランの内容

**必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません。**

**複数の実践についても、該当するセル内に簡潔にまとめて記載してください。写真や図表等を入れてもかまいません。ただし「実践したプランの内容」全体で10ページ以内に収めてください。**

### プラン全体の概要

どのような目的のプランか、どのような方法でどのような成果が得られたのかについて、200字～600字程度で記載してください。

写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの2～3枚程度にしてください。

子ども食堂は、学校や町会、自治体や社会福祉協議会、そして地域の企業・団体などと日常的に連携して運営されています。そこが「子ども食堂×防災」という観点を持つことで、より地域でのつながり・支援の輪を広げることができると考え、以下を目的として活動しました。

#### [目的]

- ◆子ども食堂が、食を通して、地域の防災に関する意識を向上させる
- ◆子ども食堂が、災害時にも地域住民の安心と安全を提供できる体制をつくる
- ◆子ども食堂が、被災時に地域の復興支援に協力できる体制をつくる

また我々は2018年1月から子ども食堂を実施していますが、コロナ禍ではキッチンカーを活用し、密集や換気を考えて屋外での開催



も行ってきました。その活用も含めてチャレンジしていきました。

#### [プランの内容]

- 子ども食堂あゆみでの防災食の提供とレシピの共有  
毎月第2・4水曜日で開催している子ども食堂あゆみにて、定期的に防災食を提供していきました。
- キッチンカー子ども食堂による防災食の出張提供  
地域イベントや自主防災訓練・避難所開設訓練にて、キッ



|  |   |
|--|---|
|  | <p>チンカーを活用し、アルファ米を使った防災食を提供して<br/>いきました。</p> <p>■「子ども食堂×防災でできること講座」の開催<br/>東京都北区内の子ども食堂運営者やボランティアスタッフ<br/>に向け、防災知識や災害リスクの理解を促す座学を設けて<br/>いきます。</p> <p>[タイトル]「子ども食堂運営者のための防災講座(仮)」/<br/>「災害時に子ども食堂はどう動く?(仮)」</p> |
|--|---|

|   |  |
|---|--|
| <p><b>プランの「チャレンジ」の結果</b></p> <p><u>プランにおいて「何がチャレンジ」なのか、<br/>1年間の活動でそのチャレンジがどのような<br/>結果・成果を生み出したかについて、200字<br/>～600字程度で記載してください。</u></p> <p>写真や図表を入れても構いませんが（文字数<br/>には含みません）、特徴的なもの2～3枚程度<br/>にしてください。</p> | <p>[チャレンジ①]</p> <p>■こども食堂あゆみでの防災食の提供とレシピの共有<br/>毎月第2・4水曜日で開催しているこども食堂あゆみで<br/>は、毎回メニューを変えています。その中でアルファ米<br/>を使ったメニューを提供し、地域の利用者に食してもらい<br/>ました。</p> <p>[チャレンジ①結果・成果]</p> <p><input type="checkbox"/>防災食を調理する・できる限り電気・ガスを使わないで<br/>調理するといった体験で、運営スタッフやボランティアも<br/>防災に関する知識を深めることに繋がりました。</p> <p><input type="checkbox"/>こども食堂あゆみを運営するスタッフの多くもアルファ<br/>米を見たことも触ったこともなかったため、それが美味し<br/>くできた時はとても驚いていた。またレシピを考える上で<br/>できるだけ電気やガスを使わないで調理してみようといっ<br/>た意見も表れ、防災への意識が高まりました。</p> <p>[チャレンジ②]</p> <p>■キッチンカーこども食堂による防災食の出張提供当初は<br/>地域イベントに出張予定でしたが、町会と一緒にあって行<br/>う自主防災訓練や避難所開設訓練に出張する方が、目的に<br/>近づけると考え、そういった出店を増やしていきました。</p> <p>[チャレンジ②結果・成果]</p> <p><input type="checkbox"/>イベント出店に関しては、以前から北区観光協会との繋</p> |
|---|--|



|  |   |
|--|---|
|  | <p>がりがあり、スムーズに出店することができました。</p> <p>□子ども食堂を継続しているにあたり、学校や町会、自治体や社会福祉協議会、そして地域の企業・団体などと日常的に連携していることで、このチャレンジも行政や町会長や消防団の方からスムーズに話を進めることができました。子ども食堂を行っていることが強みとなり、「子ども食堂×防災」の可能性を改めて確認できました。</p> <p>[チャレンジ③]</p> <p>■「子ども食堂×防災でできること講座」の開催</p> <p>北区社会福祉協議会と北区子ども食堂ネットワーク世話人と、北区子ども食堂ネットワーク会議後に防災関連の講座を実施するべく打合せしました。</p> <p>[チャレンジ③結果・成果]</p> <p>「日々の運営で手一杯」「現時点では求められていない」という結果となってしまいました。我々が防災について実践し続けながら、負担なく「防災」に取り組める手軽さについても北区子ども食堂ネットワークに周知しながら、再度進めていきます。</p> |
|--|---|

|   |   |
|---|---|
| <p><b>実践内容・方法・成果</b></p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください。どのような成果が得られたのかについてもまとめてください。写真や図表を入れても構いません。</p> <p>このセルの字数制限、写真・図表枚数制限はありませんが、「実践したプランの内容」全体で10ページ以内に収めてください。</p> <p><u>実践が複数になる場合には、それぞれについてこのセル内に簡潔にまとめて記載してください。</u></p> | <p>[実践内容①]</p> <p>■こども食堂あゆみでの防災食の提供とレシピの共有</p> <p>毎月第2・4水曜日で開催しているこども食堂あゆみでは、毎回メニューを変えています。その中でアルファ米を使ったメニューを提供し、地域の利用者に食してもらいました。</p> <p>[結果・成果]</p> |
|---|---|



回アルファ米を食べた方が「とても美味しい」といった感想を多くもらい、地域住民の防災食への抵抗感を取り除き、万が一災害があった時には、その経験から心理的な安心感を持つことに繋がりました。

回子ども達が体験しながら実施できたこともよかったですと思っています。ただ学ぶだけでなく、一緒に作った経験がより記憶に残ってくれたと思います。

回レシピの内容など、北区内の子ども食堂約 33 団体が加盟する北区子ども食堂ネットワーク会議内で情報共有していききました。高い関心を寄せる団体も多くあり、今後取り組みを横展開していきます。



[チャレンジ②]

■キッチンカー子ども食堂による防災食の出張提供当初は地域イベントに出張予定でしたが、町会と一緒にって行う自主防災訓練や避難所開設訓練に出張する方が、目的に近づけると考え、そういった出店を増やしていききました。

[結果・成果]

回子ども食堂を運営している中で、既に行政・北区観光協



会・町会・消防団・学校・北区社会福祉協議会など他団体の連携が予めつくれていたことで、比較的スムーズに実施することができました。

▣自主防災訓練や避難所開設訓練の中に、キッチンカーが入ってアルファ米を食す機会はなかったということで、参加した方は大変好評でした。

▣運営スタッフやボランティアが自主防災訓練や避難所開設訓練に参加することで、防災に関する知識を深めることにも繋がりました。

▣子ども食堂運営者が、地域住民や消防団・学校関係者などとの交流ができたことで、情報共有や地域連携力を更に高めることになりました。

【活動詳細】

[イベント]

・ 7/9(日)北区飛鳥山盆踊り

会場：北区飛鳥山公園

参加者数：8,000 人、配布食数：300 食

・ 9/27(土)北区花火会

会場：荒川土手岩淵水門付近

参加者数：5 万人、配布食数：500 食

[自主防災訓練]

・ 9/27(土)神谷地区自主防災訓練

会場：柏木神社

参加者数：48 人、配布食数：50 食

・ 11/30(日)豊島地区自主防災訓練

会場：豊島 5 丁目団地広場

参加者数：32 人、配布食数：50 食

[避難所開設訓練]

・ 11/30(日)東十条地区

会場：東十条ふれあい館

参加者数：43 人、配布食数 50 食



|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12/14(日)豊島地区<br/>会場：柳田小学校校庭<br/>参加者数：52 人、配布食数 52 食</li> <li>・ 1/24(土)赤羽地区<br/>会場：赤羽小学校校庭<br/>配布食数：50 食予定</li> <li>・ 2/8(日)神谷地区(予定)<br/>会場：都の北学園<br/>配布食数：50 食予定</li> <li>・ 2/15(日)王子地区(予定)<br/>会場：明桜中学校グラウンド<br/>配布食数：50 食予定</li> </ul> |
|--|---|

プランにおける工夫：プランを実践する上で、下記について具体的に工夫をしたことはありますか。

該当するものについて具体的な例を挙げながら記入をしてください。

**この項目は任意項目であり、全てを埋める必要はありません。当てはまるもののみ記入してください。**

|   |  |
|---|--|
| 1. 【準備段階】 <u>運営側の担当者を決める際の工夫</u><br>例：役割分担を明確にした    | 役割分担を明確に行っていました。   |
| 2. 【準備段階】 <u>地域のキーパーソンと連携する際の工夫</u><br>例：自治会と連携をした  | 自治会との連携が必要でしたが、理事メンバーが町会長や消防団の方と既に知り合いの関係であり、スムーズに進めることができました。 |
| 3. 【準備段階】 <u>運営側を組織化する際の工夫</u><br>例：協議会を作った         |  |
| 4. 【準備段階】 <u>対象者や対象地域の範囲を決める際の工夫</u><br>例：活動範囲を限定した | 子ども食堂を行っている東京都北区神谷・東十条地域から進めていき、知人のいる自治会から出張を徐々に広げました。         |
| 5. 【準備段階】 <u>準備時間を確保する際の工夫</u><br>例：定例の打ち合わせを設けた    |  |



|  |   |
|--|---|
| <p>6. 【準備段階】 <u>活動場所を確保する際の工夫</u><br/>例：公民館などを無料で使用した</p>              |   |
| <p>7. 【準備段階】 <u>活動資金を確保する際の工夫</u><br/>例：自治体の助成金に応募した</p>               |   |
| <p>8. 【準備段階】 <u>知識や情報を収集する際の工夫</u><br/>例：専門家による勉強会を開いた</p>             | <p>キッチンカーで防災に取り組む和歌山県の「かみとんだ防災プロジェクト」より取り組み事例を教えてくださいました。</p>                   |
| <p>9. 【準備段階】 <u>教育・訓練プログラムや教材を作成する際の工夫</u><br/>例：webサイトを引用した</p>       |   |
| <p>10. 【実行段階】 <u>経験豊富なアドバイザーを確保する際の工夫</u><br/>例：実行委員に助言を求めた</p>        | <p>実行委員の幾島様よりキッチンカーで活動する団体を繋いでいただきました。</p>                                      |
| <p>11. 【実行段階】 <u>地域の理解を得て関係機関と連携する際の工夫</u><br/>例：行政・自治会等と共催した</p>      | <p>北区子ども食堂ネットワークの事務局である北区社会福祉協議会とは以前から連携できていて、防災に関する取り組みについて打合せする機会づくりしました。</p> |
| <p>12. 【実行段階】 <u>活動時間を確保する際の工夫</u><br/>例：総合学習の時間に実施した</p>              |   |
| <p>13. 【実行段階】 <u>活動経費をなるべく抑える際の工夫</u><br/>例：必要物品を消防署から借りた</p>          | <p>キッチンカーは個人が所有しているものを安価でレンタルさせていただきました。</p>                                    |
| <p>14. 【実行段階】 <u>他の実践団体と交流する際の工夫</u><br/>例：中間報告会でプログラムを紹介してもらい共有した</p> |   |
| <p>15. 【継続段階】 <u>後任者を育成す</u></p>                                       |   |



|   |  |
|---|--|
| <p><u>る際の工夫</u><br/>例：若手を入れた</p>                                    |  |
| <p>16. 【継続段階】 <u>活動で得られた知識・経験を、かたちにまとめる際の工夫</u><br/>例：引き継ぎ書を作った</p> |  |
| <p>17. 【継続段階】 <u>活動の成果を外部に発信する際の工夫</u><br/>例：web サイトで発信した</p>       | <p>レシピを共有するにあたって、A4 チラシをつくって配布していきました。その他、以前から情報共有を目的にあった北区子ども食堂ネットワークメーリングリストを活用しました。</p> |
| <p>18. 【継続段階】 <u>活動内容を見直す際の工夫</u><br/>例：振り返りの会を開催した</p>             | <p>子ども食堂・フードパントリーを開催する第 2・4 水曜日に定期的に打合せを行いました。</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>今後の活動予定・今後の展開</p> <p><u>今後の活動予定や、このプランの今後の展開について、200 字～600 字程度で記載してください。</u></p> <p>写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの 2～3 枚程度にしてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自治体備蓄品(防災食)入れ替え品を地域子ども食堂で活用する仕組みづくり</li> <li>☞自治体備蓄倉庫内の賞味期限が近づいた防災食を入れ替えるタイミングで、その情報を北区社会福祉協議会(北区子ども食堂ネットワーク事務局)から北区内子ども食堂 33 団体に案内してもらいます。子ども食堂はそれらを活用して地域住民に食事提供を実施していくといった流れを区内でつくっていきます。</li> <li>「町会」</li> <li>・ 備蓄倉庫内の賞味期限が近づいた備蓄食品を入れ替えるタイミングで連絡する。</li> <li>↓</li> <li>「北区社会福祉協議会(北区子ども食堂ネットワーク事務局)」</li> <li>・ メーリングリストで、区内子ども食堂に情報提供</li> <li>↓</li> <li>「子ども食堂」</li> <li>・ 子ども食堂開催日で備蓄品を活用する。レシピも活用して</li> </ul> |
|--|--|



|  |   |
|--|---|
|  | <p>もらう。</p> <p>↓</p> <p>「地域住民」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルファ米などを美味しく食べることで抵抗感の排除に繋がる。</li><li>◆ 「子ども食堂×防災でできること講座」の開催</li></ul> <p>☞我々が運営する子ども食堂だけでなく、まずは区内子ども食堂全体が、平時には地域の居場所として機能しながらも地域住民の防災意識を高める役割を果たしながら、有事には応急復旧期における食と安心を支えることに寄与できるような、地域に根ざした防災インフラへと進化していくことを目指します。</p> <p>そのためにも我々の取り組みを定期的に横展開していくと共に、東京都北区内の子ども食堂運営者やボランティアスタッフに向け、防災知識や災害リスクの理解を促す座学を設けていきます。</p> <p>「日々の運営で手一杯」といった運営側の意見も多いので、負担なく「防災」に取り組める手軽さについても周知していきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ こども食堂あゆみで、有事の食提供フェーズに合わせた防災食の提供</li></ul> <p>☞子ども食堂は災害直後での食提供を想定していませんが、有事の時食提供フェーズにあわせた食品の提供も、参加者への防災知識と合わせて行っていきたいと思っています。</p> |
|--|---|



**この項目は任意項目です。当てはまるものがあれば記入してください。**

|  |  |
|--|--|
| <p>その他（PRポイントなど）</p> <p>これまでのセルで書けなかった内容などについてもしあれば記載してください。</p> |  |
|--|--|

### チャレンジプランを実践しての感想・実行委員会等へのご意見

**この項目は審査対象になりません。**

**任意項目ですので、当てはまるものがあれば記入してください。**

|   |   |
|---|---|
| <p>チャレンジプランを実践しての感想・想い</p> <p>チャレンジプランを実践して、どのような感想・想いがありますか。率直なお気持ちなどを教えてください。</p> | <p>子ども食堂の運営上の課題には、要支援家庭に情報が届きにくいことや運営資金の不足等が挙げられていますが、今後子ども食堂は地域交流拠点として周知することが必要となると思っています。そのためにも子ども食堂が防災といった観点も持つことが必要と考えています。</p> <p>他の子ども食堂も巻き込むことには大変さも感じていますが、チャレンジプランで行ってきたことを継続してけたらと思っています。</p> |
|---|---|